

令和元年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）の概要

資料1

【歳入】

単位：千円

款	補正前の額	補正額	計	説明・補正理由
1 国民健康保険税	884,882	△ 40,752	844,130	被保険者数の減少に伴う課税額の減少により、保険税収入の見込額が当初予算額を下回るため。
2 国庫支出金	1	1,043	1,044	電算プログラム変更（オンライン資格確認対応）に対する補助金を新規計上。
3 県支出金	2,521,557	△ 6,209	2,515,348	【普通交付金】 △5,168,625円 H30年度交付決定額とH30年度実績報告との差引超過額が令和元年度の交付額で相殺されるため。 【特定健診等負担金】 △1,040,000円 特定健康診査受診者が当初の見込みを下回ったため。
5 繰入金	458,406	△ 8,945	449,461	事務費繰入金 △5,967千円 総務費の減額によるもの。 その他一般会計繰入金 △2,978千円 保健事業費の減額によるもの。
9 繰越金	30,000	64,967	94,967	前年度繰越金（平成30年度決算の 実質収支額94,967,427円 ）が当初予算額を上回ったため。
		10,104		

【歳出】

単位：千円

款	補正前の額	補正額	計	説明・補正理由
1 総務費	30,006	△ 4,924	25,082	電算プログラム変更委託費（オンライン資格確認対応）が当初予算額を下回ったため。 ペイジー口座振替受付サービスの導入を見送ったため。
8 保健事業費	44,271	△ 4,018	40,253	特定健診受診者が当初予算時の見込数を下回ったため。
9 基金積立金	8	19,046	19,054	歳入超過額：19,046千円 を国民健康保険基金に積み立て、来年度以降の国保の運営に伴う経費の財源として活用する。 補正後の令和元年度末基金残高見込49,629,037円
		10,104		